

リスクアセスメントを 始めましょう

(スイングヤード集材編)

- 1 このパンフレットの事例は、スイングヤードによる集材作業についてリスクアセスメントを実施した人たちの報告書です。
- 2 リスクアセスメントは、みんなで議論し、少しでもリスクを小さくし、安全に作業が進められるようにすることがもっとも大切です。
- 3 初めから完璧なものをつくろうとしないで、まずリスクアセスメントを始めましょう。「危険をよみ、災害の芽をつむ」チカラが養われるようになります。
- 4 対象となる作業システムの全体像を、要素のつながりとして、その特徴をよく理解し、作業改善の方向を見いだしましょう。
- 5 徐々に、いままで見えなかったリスクアセスメントのすばらしさが、見えてくるはずです。
- 6 2～3 ページの留意事項を参考に「現場で安全を脅かすものは何か」の原点に立ち返り、リスクアセスメントに取りかかりましょう。

※ 参考としてテキストの事例を最後のページに（事例3）として掲載しました。

